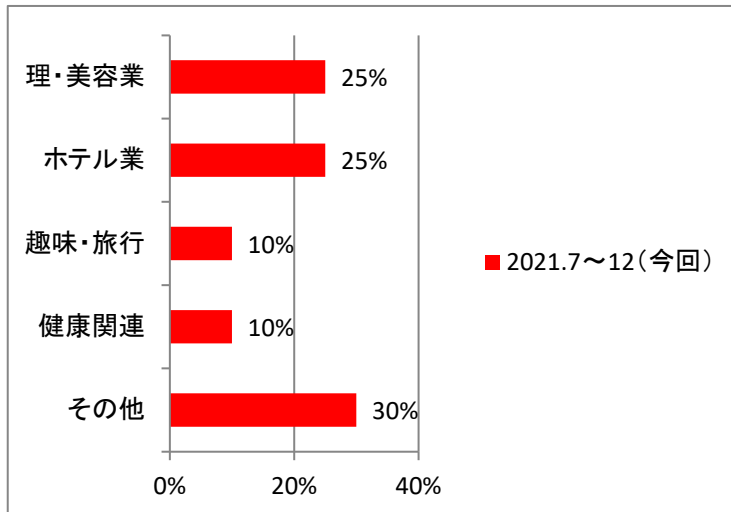


【 2022年1月実施 景況調査アンケート集計結果 】

◆◆ サービス業 ◆◆

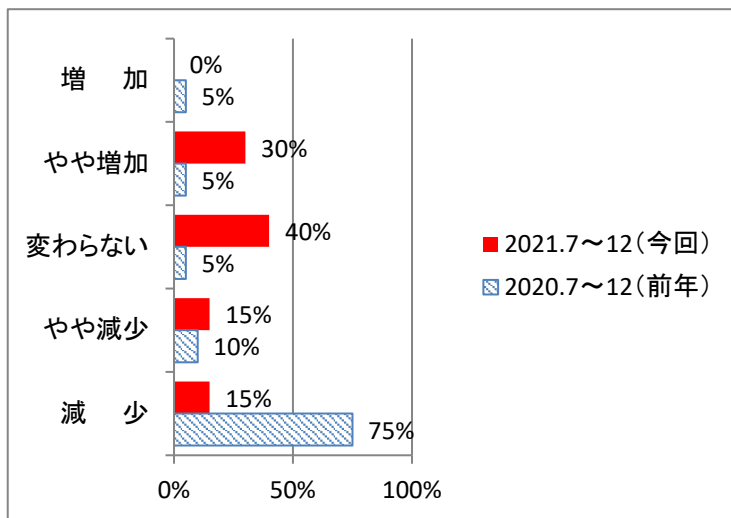
【 分類別 】



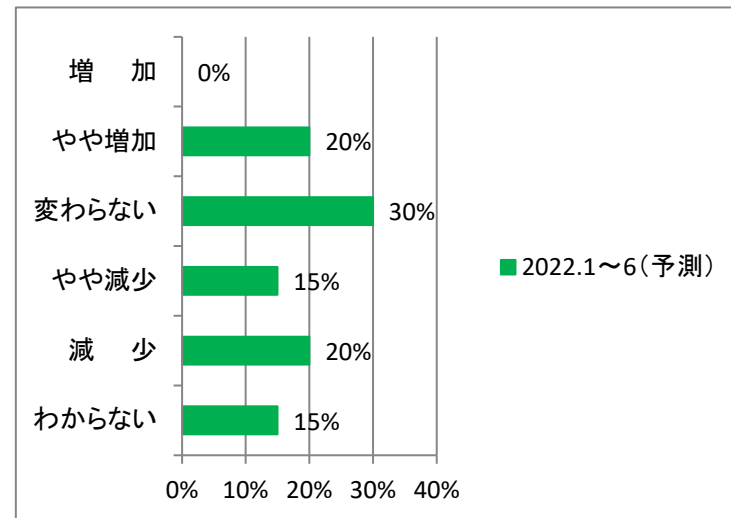
理・美容業25%、ホテル業25%、趣味・旅行10%、健康関連10%、その他(衣料品、クリーニング店他)30%

【 売上 】

今回結果と前年結果の比較



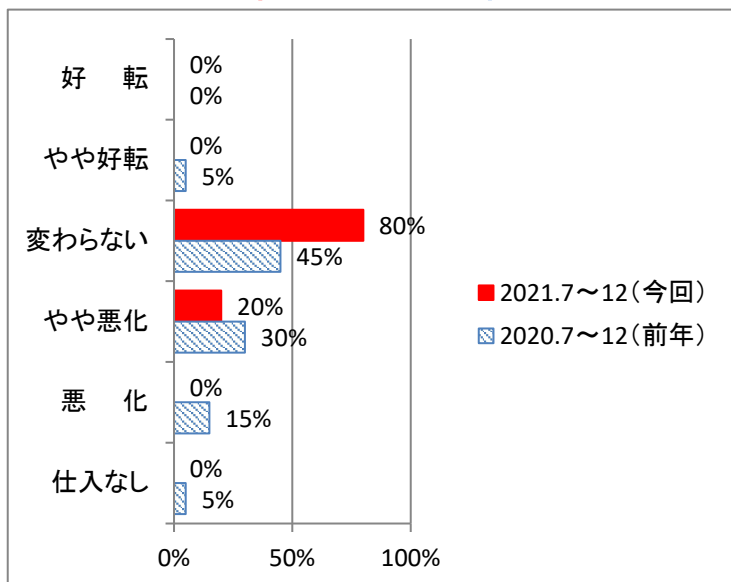
予測(2022年1~6月)



「減少」が15%まで大きく減り、「変わらない」が40%、「やや増加」が30%に増えている。

【 仕入 】

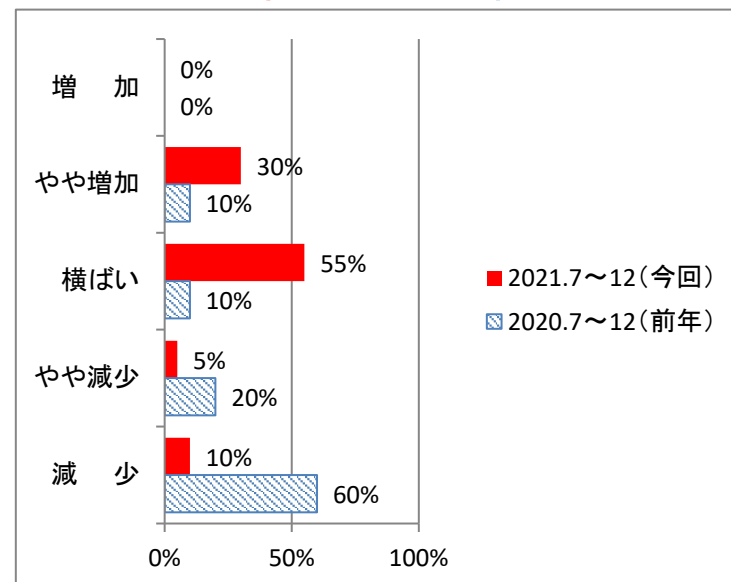
今回結果と前年結果の比較



「やや好転」「好転」との回答はなく、「変わらない」が80%を占め、「やや悪化」が20%となっている。

【 利益 】

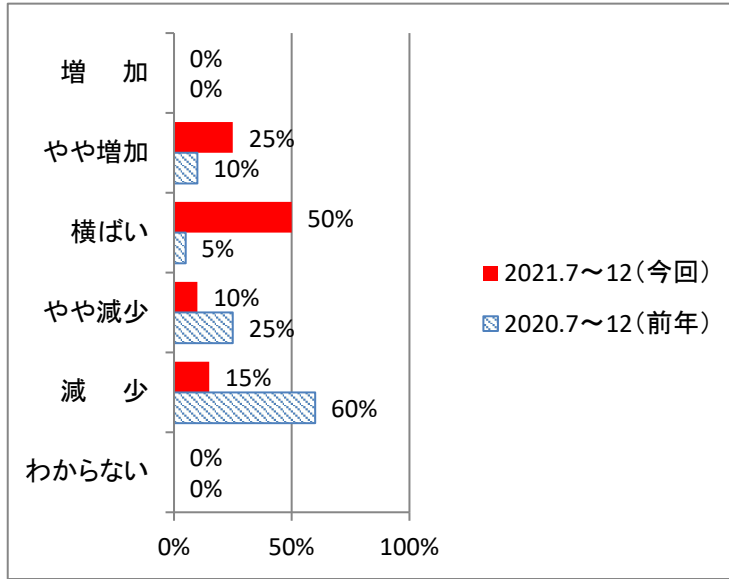
今回結果と前年結果の比較



「やや減少」「減少」で15%まで減っているが、「横ばい」が55%を占めている。【売上】と同じく「やや増加」が30%に増えている。

【客数】

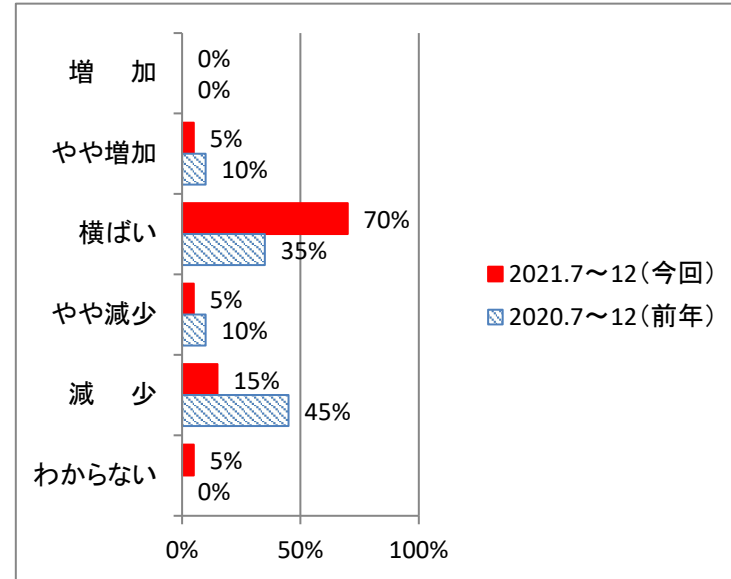
今回結果と前年結果の比較



「やや減少」「減少」で25%まで減り、「横ばい」が50%を占めている。「やや増加」も25%に増えている。

【客単価】

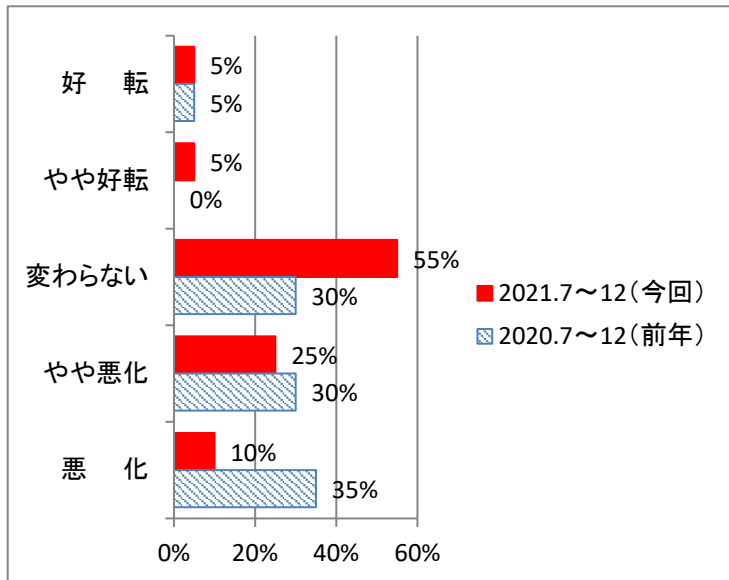
今回結果と前年結果の比較



「やや減少」「減少」で20%となっており、「横ばい」が70%を占めている。

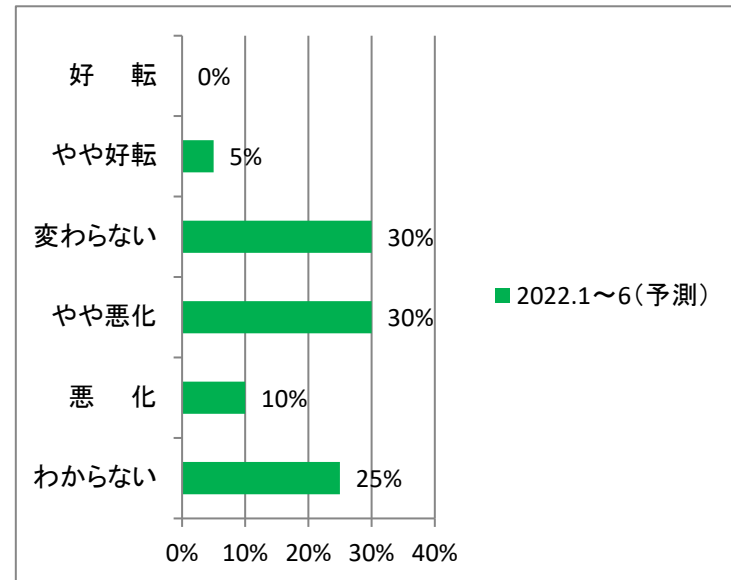
【資金繰り】

今回結果と前年結果の比較



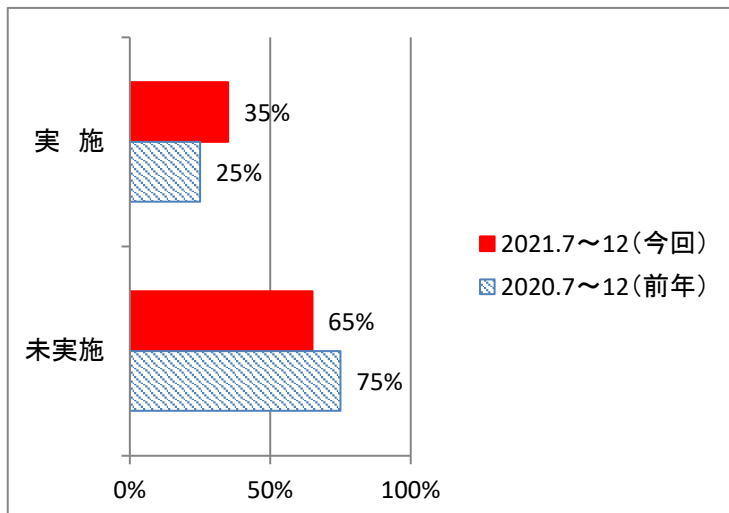
「変わらない」が55%と半数以上を占めており、厳しい状況が続いている。

予測(2022年1~6月)

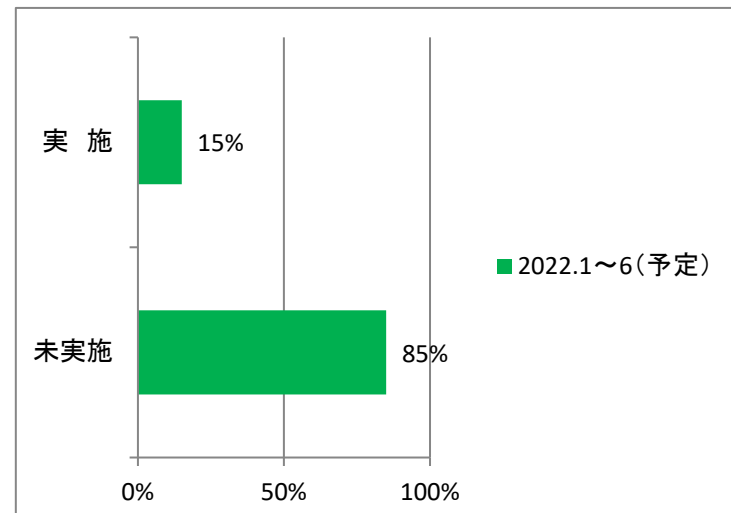


【設備投資】

今回結果と前年結果の比較



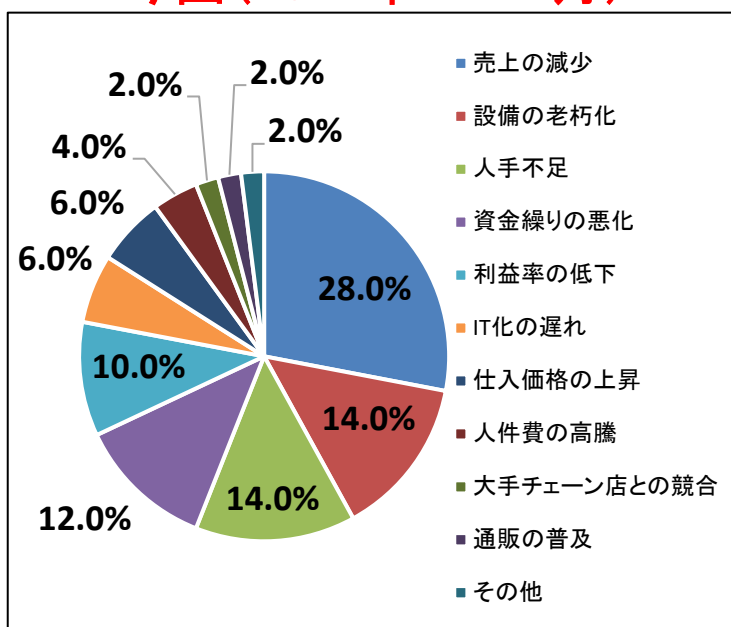
予定(2022年1~6月)



35%の事業所が設備投資を行っている。今後も15%の事業所が設備投資を予定している。

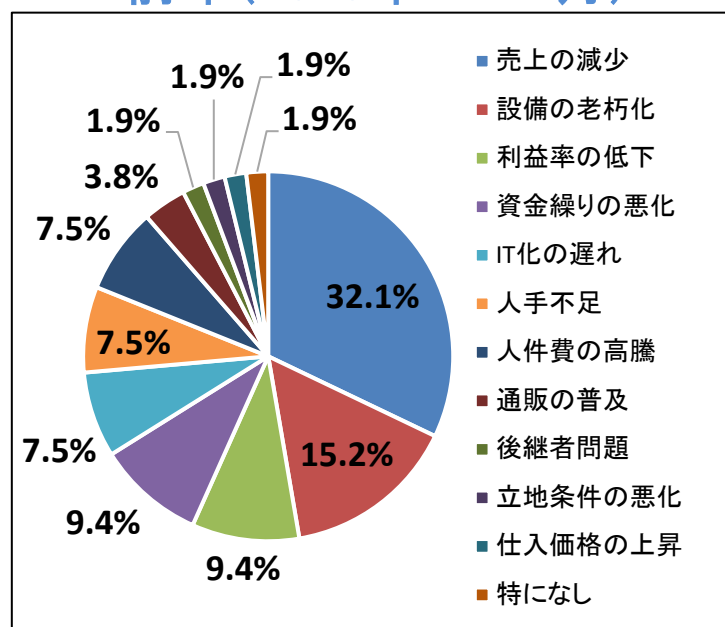
《 経営課題 》

今回(2021年7~12月)



売上の減少	設備の老朽化	人手不足	資金繰りの悪化
28.0%	14.0%	14.0%	12.0%
利益率の低下	IT化の遅れ	仕入価格の上昇	人件費の高騰
10.0%	6.0%	6.0%	4.0%
大手チェーン店との競合	通販の普及	その他	
2.0%	2.0%	2.0%	

前年(2020年7~12月)



売上の減少	設備の老朽化	利益率の低下	資金繰りの悪化
32.1%	15.2%	9.4%	9.4%
IT化の遅れ	人手不足	人件費の高騰	通販の普及
7.5%	7.5%	7.5%	3.8%
後継者問題	立地条件の悪化	仕入価格の上昇	特になし
1.9%	1.9%	1.9%	1.9%

経営課題で一番多く挙げられたのが『売上の減少』で28.0%、続いて『設備の老朽化』『人手不足』が14.0%という結果であった。